

根室市農耕地土壤図(1/5万)

(地力保全基本調査、根室地域)

北海道立中央農業試験場

(平成9年3月)

65
/100

本調査報告書は、農水省北海道農業試験場発行の「土性調査報告書」（第28編、1983）を参考にして、地力保全基本調査様式に準じて編集・発行したものです。ただし、面積については、昭和60～61年版の市町村別農業統計に市単位で合致させてあります。

（編集担当）北海道立中央農業試験場
環境化学部 土壌資源科

— 目 次 —

土壤区一覧表	1
各土壤区の代表的断面形態、分析値および解説	
東 梅 統一東 梅 区	2
友 知 統一友 知 区	3
沖 根 婦 統一沖 根 婦 区	4
別 当 賀 統一別 当 賀 区	5
歯 舞 統一歯 舞 区	6
弁 慶 統一弁 慶 区	7
(付表1)生産力可能性分級基準	8
(付表2)土壤分類の一覧	10
(付表3)断面柱状図の記号の説明	12
(付表4)要土地改良、土層改良土壤一覧	13

土壤区分一覧表

設色	土壤統群	土壤区名	地図上の記号	簡略分級式	面積 (ha)	腐植層序	礫層及び砂礫層	酸化沈積物	土性		泥炭	グラ/層	堆積様式	母材	土壤分類コード		代表地点
									表層	次層					全国土壤統	北海道案	
	03C	東梅	HI	III n II wfae	3,602	表層多腐植層	50~70cm 砂礫	なし	壤質	なし	なし	なし	風積	非固結火成岩	03C14	2431	3
	04A	友知	T	III wa II nse	1,817	表層多腐植層	45~63cm 78~88cm 礫	88cm 以下	粘質	なし	なし	なし	風積	非固結火成岩	04A07	2711	12
	04C	沖根婦	O	III wna II fe	2,831	表層多腐植層	20~33cm 73cm以下 礫混	なし	壤質	なし	なし	なし	風積	非固結火成岩	04C13	2531	8
	13C	別当賀	B	III na II dwi	116	表層腐植層	30~60cm 砂層 60cm以下礫	20~60cm	壤質	砂質	なし	なし	水積 (河成)	非固結水成岩	13C11	7213	14
	16	齒舞	H	IV t III na II w f	430	全層腐植層	60~78cm 砂礫	なし	泥炭	泥炭	0-60 cm 78~	なし	集積	ヨシ、スゲ、コケ	16 01	8111	17
	16	弁慶	BN	IV t III dn II w fia	584	表層腐植層	17~24cm 40~cm 砂層	なし	泥炭	砂質	0-17 cm 24-40 cm	なし	集積/ 水積(河成)	ヨシ、スゲ/ 非固結水成岩	16 05	8131	18

計 9,830ha

土壤分類の名称 (土壤統群)

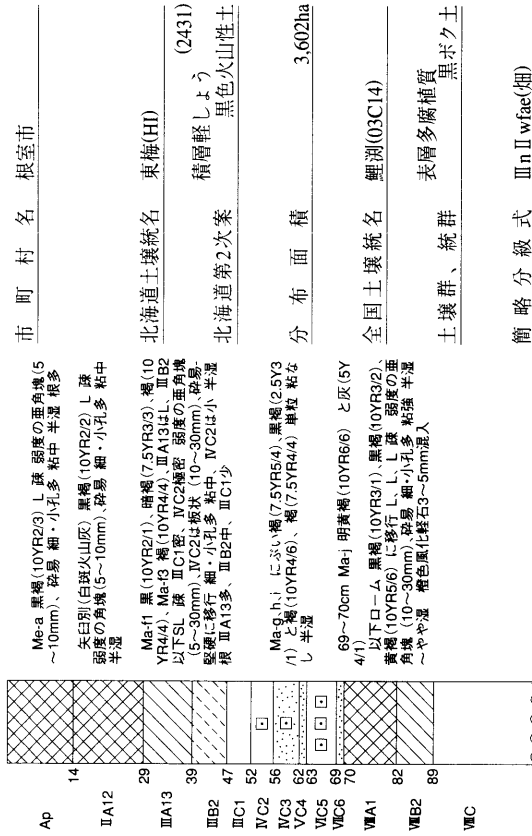
03C 表層多腐植質黒ボク土
04A 厚層多腐植質多湿黒ボク土
04C 表層多腐植質多湿黒ボク土
13C 礫質灰色低地土、灰色系
16 泥炭土

土壤分類の名称 (北海道案の小分類)

2431 積層軽しよう黒色火山性土
2711 速性厚層黒色火山性土
2531 積層軽しよう湿性黒色火山性土
7213 灰色低地土 (中粒質)
8111 低位泥炭土
8131 下層無機質低位泥炭土

図 幅 名 根 室

東梅 (HI) 3



簡略分級式 III n II wfae(畑)

<特徴>

標高20~78m傾斜2~3°の平坦~緩波状性の台地。
70cm以下ローム、下層になるほど粘性が強く理学生はやや不良。このため表層の保水性はやや強い。

示性分級式(畑)

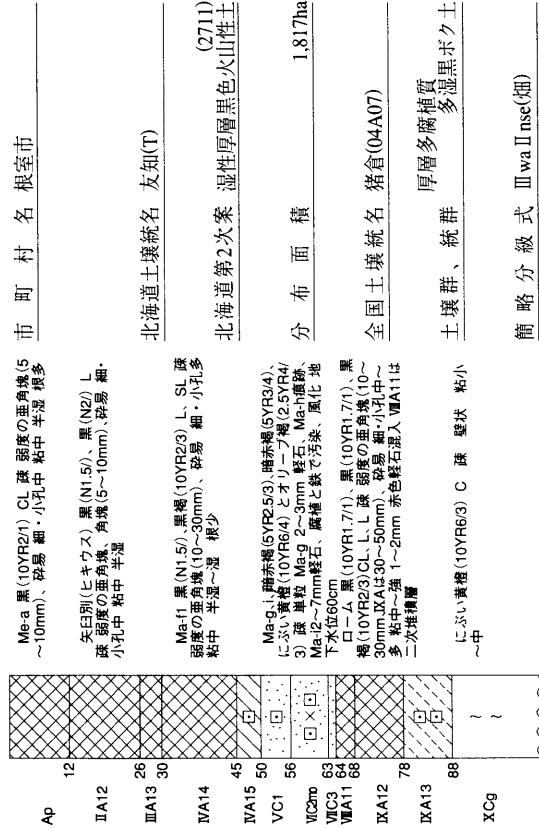
土壌生産力	可	能	性	等	級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

層位	採取部位 cm	層位名	腐水	全腐	全窒	全炭	C/N	農学会法			国際法粒徑組成			真比			三相分布	孔	pH		Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重 g			
								粘	土	性	粗	細	シルト	粘	土	性			固相 %	液相 %					空隙率 %	H ₂ O	Kcl			Ca	Mg	K
1	0~14	AP	5.7	11.1	0.69	6.44	9	30.0	L	17.3	36.6	32.2	13.9	L	2.4	27	62	11	73	5.8	5.1	1.6	2,173	27.49	10.47	38	9.22	0.71	0.13	0.41	2.0	60
2	14~29	II A12	6.4	11.1	0.71	6.44	9	31.2	L	15.9	27.9	42.7	13.5	L	2.4	27	64	9	73	6.0	5.3	1.0	2,259	29.91	10.31	34	8.87	1.06	0.05	0.33	2.6	60
3	29~39	III A13	6.6	8.7	0.51	5.05	10	20.5	SL	22.8	36.4	35.4	5.3	L	2.5	26	56	18	74	6.0	5.3	1.3	2,050	30.24	7.87	26	6.03	1.42	0.03	0.38	2.3	60
4	39~47	III B2	6.7	6.8	0.46	3.97	9	10.4	S	31.3	35.4	32.8	0.5	SL	2.5	23	59	18	77	6.1	5.4	0.9	1,937	24.41	6.81	28	4.79	1.42	0.05	0.55	1.7	54
5	47~52	III C1	5.8	4.6	0.36	2.69	8	14.9	SL	38.4	25.4	35.1	1.1	L	2.5	26	59	15	74	5.4	5.4	0.6	1,863	19.85	4.08	21	3.46	0.13	0.04	0.45	2.3	62

＜特徴＞

低地及び凹地である。45cm前後まで黒色の多腐植層である。
地下水位が60cm前後にある排水不良地である。

図 幅 名 根 室



北海道土壌統名 友知(T)

北海道第2次案 湿性厚層黒色火山性土 (2711)

示性分級式(畑)

簡略分級式 IIIwa II nse

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			国際法粒径組成			真比重	三相分布			pH		Y ₁	りん酸吸収係数	塩基交換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g			有効態りん酸 mg	容積重 g		
								粘土 %	シルト %	細砂 %	粗砂 %	相率 %	空隙率 %		孔隙率 %	Ca	Mg	Na													
1	0~12	AP	5.5	13.6	0.98	7.90	8	31.2	L	11.9	32.3	33.5	22.3	2.2	20	66	14	80	5.6	4.8	3.6	1,158	44.33	9.66	22	5.67	2.84	0.43	0.72	4.0	43
2-3	12~30	IIA12 IIIA13	6.6	15.6	0.73	9.02	12	29.6	L	9.6	35.3	43.0	12.1	2.3	22	73	5	78	5.5	4.8	4.6	1,774	48.81	3.57	7	2.48	0.35	0.21	0.53	4.0	52
4-5	30~50	IVA14 IVA15	7.8	15.2	0.55	8.81	16	22.2	SL	30.1	28.0	35.1	6.8	2.4	18	66	16	82	5.7	4.9	3.8	2,100	51.20	3.35	7	2.48	0.35	0.13	0.38	2.6	46
6	50~56	VC1	5.7	5.0	0.33	2.90	9	3.7	S	70.9	19.8	9.0	0.3	2.5	18	72	10	82	5.8	5.5	0.3	1,773	30.16	1.60	5	1.06	0.13	0.06	0.35	1.4	44

図 幅 名 根 室

1	暗層(7.5YR2.5/3) ワタスゲ ミスコケ 分解甚不良
2	にぶい黄緑(10YR6/4) SL 疎 単粒粘なし 湿
3	Me-a 穂(10YR4/4) スゲ 分解やや良
4	灰白(7.5YR8/2) S-L 疎 単粒 粘なし 火山灰
5	オリーブ黒(5Y3/1) S-L 疎(ヨシ) 分解やや不良
6	暗層(10YR3/3) スゲ(ヨシ・C) 分解良好
7	穂(7.5YR4/4) L~SL (スゲ) 単粒 粘なし 湿 火山灰
8	黒(10YR2/1) ヨシ (スゲ・C) 分解良好
9	黒(10YR1.7/1) スゲ~ヨシ (SL) 分解良好
10	Ma-g 奥(2.5Y4/4) SL 単粒 やや密 粘なし 湿 スケ含む
11	Ma-h オリーブ黒(2.5Y4/4) SL 単粒 やや密 粘なし 湿 スケ含む
12	Ma-l 黒(10YR5/4) 単粒 やや密 粘 穂(2.5Y2/2) SL (ヨシ) 単粒 粘なし 湿
13	Ma-j 濃緑 二次堆積層?
14	暗成層(2.5Y4/2) C (ヨシ) やや密 細・小孔少 粘強 湿

<特徴>

標高20~40mの台地上の凹地に分布する。
表層14cm前後は、ミスコケ、ワタスゲ、ソルコケモモを主材とする泥炭で分解ごく不良。
排水困難。

示性分級式(細)

土壌生成力	土の層の厚さ	土の粘着性	土の乾燥性	土の保水性	土の肥力	土の固結性	土の腐植性	土の酸化性	土の塩化性	土の自溶性	土の自然傾斜	土の人為傾斜	土の風蝕性	土の耐水性
IV	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

簡略分級式 IVtIIIaIIwf(細)

層位	採取部位 cm	層位名	腐水	全窒素 %	全炭素 %	C/N	粘土 %	農学会法	国際法粒径組成			三相分布		pH	Y ₁	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩飽和度 %	置換性塩基 me/100g			有効りん酸 mg	容積重 g							
									粗砂 %	細砂 %	シルト %	固相 %	液相 %							孔隙率 %	H ₂ O	Kgl			Ca	Mg	K	Na			
1	0~14	1	8.3	40.0	1.87	23.20	13	24.1	SL	29.7	14.1	30.0	26.2	Lic	1.7	13.87	0	87	5.0	4.6	12.2	1,466	80.42	10.62	13	9.04	0.53	0.15	0.90	2.0	22
2-4	14~20	2~4	4.3	26.5	0.95	15.36	16	21.5	SL	4.9	42.4	44.3	8.4	L	2.1	21.75	4	79	5.2	4.7	6.0	1,500	41.24	4.05	10	2.84	0.71	0.07	0.43	2.0	43
5	20~31	5	7.3	48.5	1.81	28.14	16	11.4	S	15.2	38.5	40.0	6.3	L	1.7	13.79	8	87	4.9	4.5	8.4	1,532	69.03	6.66	10	5.32	0.64	0.06	0.64	1.4	25
6	31~38	6	8.0	71.5	1.92	41.46	22	1.1	S	57.2	14.9	27.6	0.3	SL	1.5	15.81	4	85	4.9	4.4	13.0	829	65.64	4.03	6	2.84	0.35	0.05	0.79	1.1	21
7	38~43	7	5.2	18.5	0.64	10.74	17	24.0	SL	2.1	44.4	42.3	11.2	L	2.2	28.69	3	72	5.2	4.6	9.9	2,175	46.08	1.41	3	0.53	0.53	0.03	0.33	1.1	65
8-9	43~60	8~9	6.7	23.2	0.72	13.43	19	7.1	S	49.4	16.3	24.6	9.7	SL	2.2	18.79	3	82	5.4	4.7	6.2	2,512	50.72	2.88	6	2.13	0.43	0.06	0.32	17.2	39
10-13	60~90	10~13	6.0	10.6	0.37	6.12	16	11.8	S	46.5	23.4	25.7	4.4	SL	2.4	19.79	2	81	5.6	5.2	1.6	2,512	34.37	2.28	7	1.42	0.35	0.01	0.51	0.8	45

生 産 力 可 能 性 分 級 基 準

等級	基 準												備 考												
	I 等						II 等							III 等						IV 等					
	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑		水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑		
第 I 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壤管理を行う上には、土壤的に殆どあるいは全く制限因子あるいは阻害因子がなく、また土壤悪化の危険性もないう良好な耕地とみなされる土地																								
第 II 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壤管理を行う上に、土壤的にみて若干の制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壤悪化の危険性が多少存在する土地																								
第 III 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壤管理を行う上に、土壤的にみてかなり大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壤悪化の危険性がかなり大きい土地																								
第 IV 等級	正当な収量をあげ、また正当な土壤管理を行う上に、土壤的にみてきわめて大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壤悪化の危険性がきわめて大きく耕地として利用する際には、きわめて困難と認められる土地																								
基準項目	I 等						II 等						III 等						IV 等						備 考
表示記号	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑			
表(作)土の厚さ	25~15cm	25cm以上	50~25cm	15cm以下	100~50cm	100~50cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm			
有効土層の深さ	100~50cm	100cm以上	50~25cm	15cm以下	100~50cm	100~50cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm	25~15cm	15cm以下	50~25cm	50~25cm			
表(作)土の礫含量	20%以下	5%以下	10%以下	20%以下	5%以下	10%以下	20%以下	10%以下	20%以下	5%以下	10%以下	20%以下	10%以下	20%以下	5%以下	10%以下	20%以上	50%以上	20%以上	50%以上	20%以上	50%以上			
耕耘の難易	耕耘、碎土が容易である						耕耘、碎土がやや困難である						耕耘、碎土が困難である						耕耘、碎土が困難である						
洪水透水性	小~中	大	大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大	極大			
酸化還元性	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い	還元性が強い			
土地の乾湿	過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない	過湿のおそれがある	過湿のおそれがある	過湿のおそれが多い	過湿のおそれがある	過湿のおそれがある	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い			
自然肥沃度	高	中	中	低	中	中	低	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少			
養分の豊否	多	中	中	少	中	中	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少			
障害性	有害物質および物理的障害なし	有害物質の小さい有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり	有害物質あり			
災害性	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が殆どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある			
傾斜	3°以下	8°以下	15°以下	3°~8°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°	8°~15°			
侵蝕	侵蝕のおそれがないかまたはきわめて少ない	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い			

検査項目	要因				強度		備考	
	1	2	3	4				
排水透水性	SC.LC.SI.C.HC	SCL.CL.SI.CL	SL.FSL.L.SI.L.SLS					
作土下50cmの土性	微	細	中粗					
作土下50cmの最高土密度	硬度計の読み25以上	硬度計の読み24~11	硬度計の読み10以下					
作土の易分解性有機物含量	風乾生成量及び高温生成量が10以下	風乾生成量が10~20及び高温生成量が10~15	風乾生成量が20以上及び高温生成量が15以上				乾土100g当たりのNH ₄ N生成量(mg)	
酸化還元性	作土の遊離酸化鉄含量	1.5以上	多				乾土%	
グレイ化度	50cm以内にグレイ層のないもの	50cm以内より下部にグレイ層のあるもの	全層グレイ、作土直下からグレイ層のあるもの				1) 作土グレイ、または作土直下のみグレイは要因強度を1とする。 2) 炭能層はグレイ層に準じて取扱う。 3) 要因強度が1でも作土中の地下水位が高く排水不良の場合は強度を2に下げる	
自然肥沃度	保肥力	CEC20以上	大	CEC20~6	中	CEC6以下	小	作(表)土の塩基置換容量(me)から判定する
土層の塩基状態	固定力	磷酸吸収係数700以下	多	磷酸吸収係数700~1500	小	磷酸吸収係数1500~2000	中	磷酸吸収係数2000以上
	置換性石灰含量	pH(H ₂ O)5.5以上で置換性石灰飽和度50%以上	良	pH(H ₂ O)5.0~5.5で置換性石灰飽和度50~30%	中	pH(H ₂ O)5.0以下で置換性石灰飽和度30%以下	不良	
養分の豊富	置換性石灰含量	200mg以上(乾土100g当たり)または置換性石灰飽和度50%以上	多	200~100mg以上(乾土100g当たり)または置換性石灰飽和度50~30%	中	100mg以下(乾土100g当たり)または置換性石灰飽和度30%以下	少	
	置換性苦土含量	25mg以上	多	25~10mg	中	10mg以下	小	乾土100g当り
の有	置換性加里含量	15mg以下	多	15~8mg	中	8mg以下	小	乾土100g当り
	有効態磷酸含量	10mg以上	多	10~2mg	中	2mg以下	小	乾土100g当り
の有	有効態素含量	風乾生成量20mg以上	多	風乾生成量20~10mg	中	風乾生成量10mg以下	小	乾土100g当り
	有効態珪酸含量	15mg以上	多	15~5mg	中	2mg以下	小	乾土100g当り
微量要素含量	欠乏症状が全く、あるいは殆どない	欠乏症状がかなり発生する	欠乏症状が甚だしく発生する					
酸度	pH(H ₂ O)6以上またはY:3以下	pH(H ₂ O)6~5またはY:3~6	中	pH(H ₂ O)5~4.5またはY:15~16	強	pH(H ₂ O)5~4.5以下またはY:15以上	弱	pH(H ₂ O)とY:1の測定結果が一致しないときは要因強度が強くできる方をとる

(付表2) 土壌分類の一覧

農耕地土壌分類・第2次案（昭和58年、農技研土壌第3科）

農水省、学会等で使われている事実上の全国共通の分類法で、造成土を除くと16土壌群56土壌統群320土壌統よりなる。

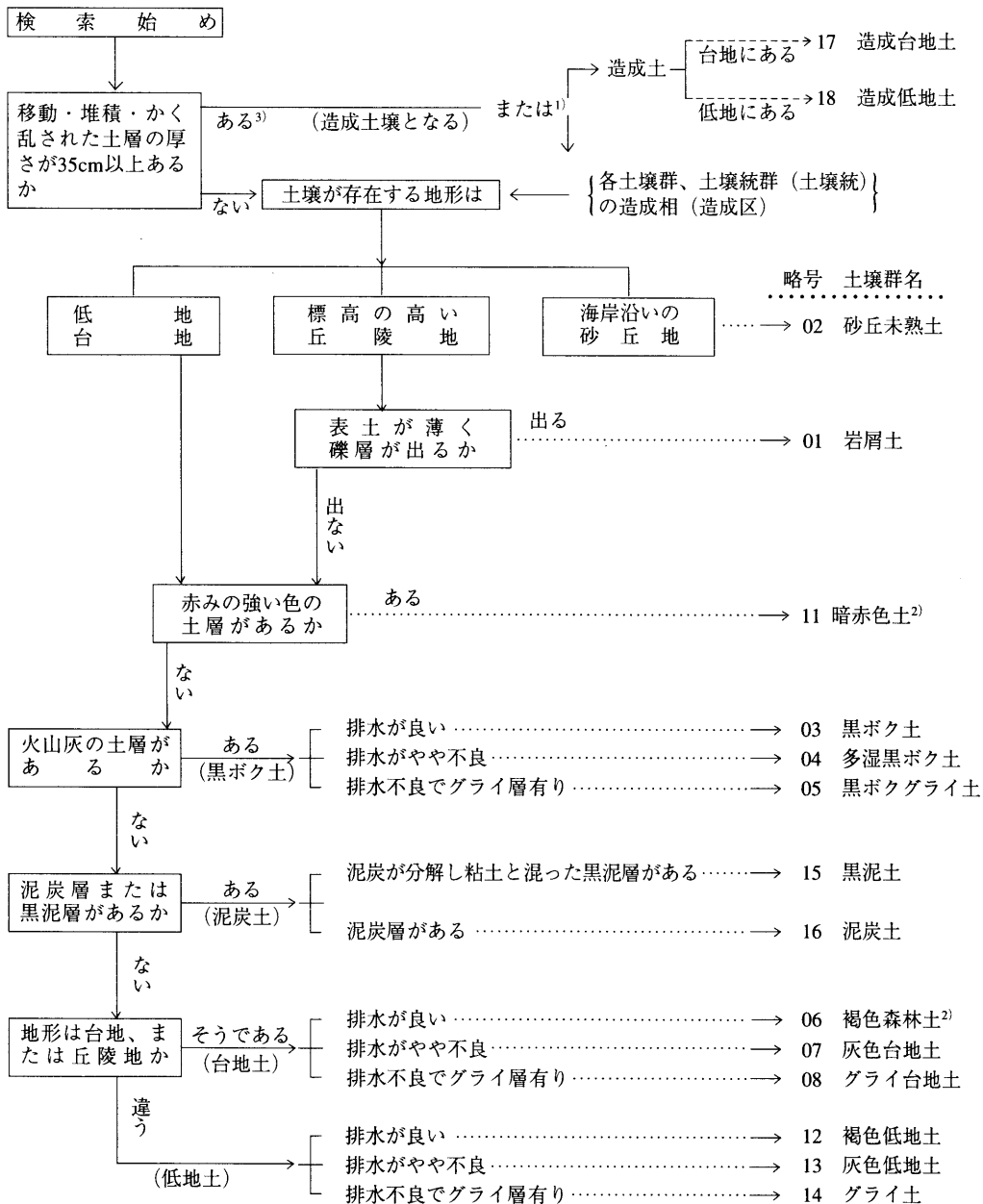
土壌群、土壌統群一覧

01 岩 屑 土	L	B 中粗粒黄色土	Y-mc
02 砂 丘 未 熟 土	RS	C 礫質黄色土	Y-g
03 黒 ボ ク 土	A	D 細粒黄色土、斑紋あり	Y-wf
A 厚層多腐植質黒ボク土	A-tr	E 中粗粒黄色土、斑紋あり	Y-wmc
B 厚層腐植質黒ボク土	A-th	F 礫質黄色土、斑紋あり	Y-wg
C 表層多腐植質黒ボク土	A-r	11 暗 赤 色 土	DR
D 表層腐植質黒ボク土	A-h	A 細粒暗赤色土	DR-f
E 淡色黒ボク土	A-l	B 礫質暗赤色土	DR-g
04 多湿黒ボク土	AW	12 褐 色 低 地 土	BL
A 厚層多腐植質多湿黒ボク土	AW-tr	A 細粒褐色低地土、斑紋なし	BL-f
B 厚層腐植質多湿黒ボク土	AW-th	B 中粗粒褐色低地土、斑紋なし	BL-mc
C 表層多腐植質多湿黒ボク土	AW-r	C 礫質褐色低地土、斑紋なし	BL-g
D 表層腐植質多湿黒ボク土	AW-h	D 細粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wf
E 淡色多湿黒ボク土	AW-l	E 中粗粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wmc
05 黒ボクグライ土	AG	F 礫質褐色低地土、斑紋あり	BL-wg
A 多腐植質黒ボクグライ土	AG-r	13 灰 色 低 地 土	GrL
B 腐植質黒ボクグライ土	AG-h	A 細粒灰色低地土、灰色系	GrL-f
C 淡色黒ボクグライ土	AG-l	B 中粗粒灰色低地土、灰色系	GrL-mc
06 褐 色 森 林 土	B	C 礫質灰色低地土、灰色系	GrL-g
A 細粒褐色森林土	B-f	D 細粒灰色低地土、灰褐色系	GrL-bf
B 中粗粒褐色森林土	B-mc	E 中粗粒灰色低地土、灰褐色系	GrL-bmc
C 礫質褐色森林土	B-g	F 礫質灰色低地土、灰褐色系	GrL-bg
07 灰 色 台 地 土	GrU	G 灰色低地土、下層黒ボク	GrL-a
A 細粒灰色台地土	GrU-f	H 灰色低地土、下層有機質	GrL-o
B 中粗粒灰色台地土	GrU-mc	I 灰色低地土、斑紋なし	GrL-d
C 礫質灰色台地土	GrU-g	14 グ ラ イ 土	G
D 灰色台地土、石灰質	GrU-ca	A 細粒強グライ土	G-sf
08 グライ台地土	GU	B 中粗粒強グライ土	G-smc
A 細粒グライ台地土	GU-f	C 礫質強グライ土	G-sg
B 中粗粒グライ台地土	GU-mc	D 細粒グライ土	G-f
C 礫質グライ台地土	GU-g	E 中粗粒グライ土	G-mc
09 赤 色 土	R	F グライ土、下層黒ボク	G-a
A 細粒赤色土	R-f	G グライ土、下層有機質	G-o
B 中粗粒赤色土	R-mc	15 黒 泥 土	M
C 礫質赤色土	R-g	16 泥 炭 土	P
10 黄 色 土	Y	17 造 成 台 地 土	MU
A 細粒黄色土	Y-f	18 造 成 低 地 土	ML

(09、10は北海道には存在しないとされている)

<土壌の種類を探しあてるための検索表>

厳密な意味での検索表ではないが、土壌分類、つまり土壌の種類のわけ方の流れを説明するために大まかなものを以下に示した。



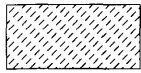
注 1) 二通りに分けするための定義は省略した。
 2) 09黄色土、10赤色土は北海道に存在していないため省略した。
 3) 既存の分類にはあてはまれば必ずしも造成土壌とする必要はない。

(付表3)

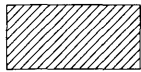
<断面柱状図の記号の説明>

以下のうち、腐植は重量割合、その他は断面中の面積割合による。

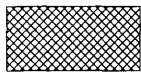
腐植 (ふしょく)



含む
(2~5%)

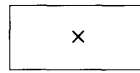


富む
(5~10%)



すこぶる富む
(10%以上)

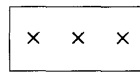
はん紋 ...雲状、膜状、糸根状、状状



含む
(2~20%)



富む
(20~50%)



すこぶる富む
(50%以上)

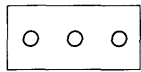
礫 (レキ)



含む
(5~10%)



富む
(10~20%)

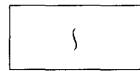


礫層
(20%以上)

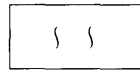


砂礫層

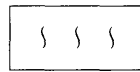
はん紋 ...管状、脈状



有り
(2%未満)

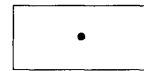


含む
(2~20%)



富む
すこぶる富む
(20%以上)

結核状、点状

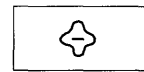


- 円レキ (丸いレキ)
- 半角レキ (やや丸いレキ)
- △ 角レキ (とがったレキ)
- ◻ 火山軽石 (パーミス)

グライ層



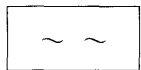
グライ斑



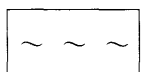
泥炭 (でいたん)



含む
(1/3未満)

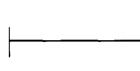


富む
(1/3以上~2/3未満)

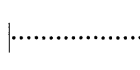


泥炭層
{ 面積割合で2/3以上を
占め腐植含量20%以上 }

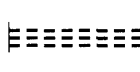
土層の境界



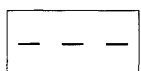
明瞭
(3cm未満)



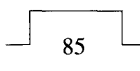
やや明瞭
(3~5cm)



漸変 (次第に変化)
(5cm以上)



黒泥層



湧水位置
(cm)

直線状
(平坦) ———

波状 ~~~~~
不規則

盤層



(付表4)

土地改良、土層改良を必要とするか、あるいは考慮の対象となり得る土壌

(水田)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水 心土破碎	地下水位が高く、排水不良なもの (04、05、07、08、13、14、15、16)
		地下水位は低いが、表土が粘質で表面排水が不良になり易いもの (06A、11A、12A・D)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除礫 耕土補給	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)

(畑地・草地・樹園地)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水 心土破碎	排水不良なもの、表面排水が不良になり易いもの (04、05、06A、07、08、11A、12A・D、13、14、15、16)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除礫 耕土補給	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)
土層改良	混層耕 (反転客土耕) (改良反転客土耕)	理化学性が不良な火山灰層と良好な埋没火山灰層(又は沖積層、 洪積層)とを混合あるいは交換して活用する耕起法。 (03・04・05のうち土層の状態が目的にかなっているもの)
	心土肥培耕	心土の科学性が不良で、改良資材の投入が可能なもの (03・04・05の大部分)
	心土硬盤破碎	表土の下の土層が硬い(堅密)か、あるいは硬くなり易いもの (02・03の一部と15・16の一部を除く大部分の土壌)